

リラクゼーションシャンプーユニット



CRAL

設置者用 説明書

Distributed by BEAUTYGARAGE

Ver.④

設置について

電源仕様

- 床下にて電源工事を行い、定格15A以上の100V 3芯アース付きの本機器専用コンセントを設置し機器と接続してください。

アース

- 万が一の事故防止、機器保護の為必ずアースはお取りください。

設置床面基準

モルタル床	厚さ50mm以上
木製床	ボルト取り付け部分に厚さ40mm以上

注意事項

- 床面材料・床面仕上げ材に防水材もしくは、防水加工行ったものを使用してください。
 - 設置面が水平かつ凹凸が無いようにしてください。
 - 2階以上に設置される場合は、必ず床下への防水処置（防水工事、ステンレスパンの設置、漏水センサーの設置等）を行ってください。
- ※木製床以外への設置の場合別途、取り付け金具（アンカーボルト等）をご用意ください。

配管施工上の注意

配管仕様	給湯・給水配管	PJ1/2
	排水	立ち上がりVU40またはVP40
	排水管勾配	φ 7 5 未満は 1 / 5 0 以上、 φ 7 5 以上は 1 / 1 0 0 以上

注意事項

- 給湯・給水配管 は同径同圧にしてください。
- 管の切断面はバリ取りをしてください。
- 逆U字配管（鳥居配管）は空気溜まり・ウォーターハンマーの原因となるので避けてください。
- 湯・水を逆配管しないで下さい。やけどや故障の原因となります。
- 給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。

給湯器

- 給湯器をご使用の場合は16 号以上を使用してください。
- シャンプー台を複数台の場合は機器ごとに給湯器を使用してください。

接続用パーツについて

- パッキンが使用されている箇所は必ずパッキンのみで取り付けシールテープは使用しないでください。
- ナットの適正締め付けトルクは 20N ・ m です。

サーモタイプについて

- 必ず付属の止水栓をご使用ください。付属以外の物を使用した場合トラブルの原因となります。

使用給湯・給水について

給水・給湯圧力	最低必要圧力	0. 1 5 MP a
	最高圧力	0. 7 5 MP a（静水圧）
	適正圧力	0. 2 ～ 0. 3 MP a
推奨給湯温度		6 0 °C
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水（※）
用 途		理美容用

（※）飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。

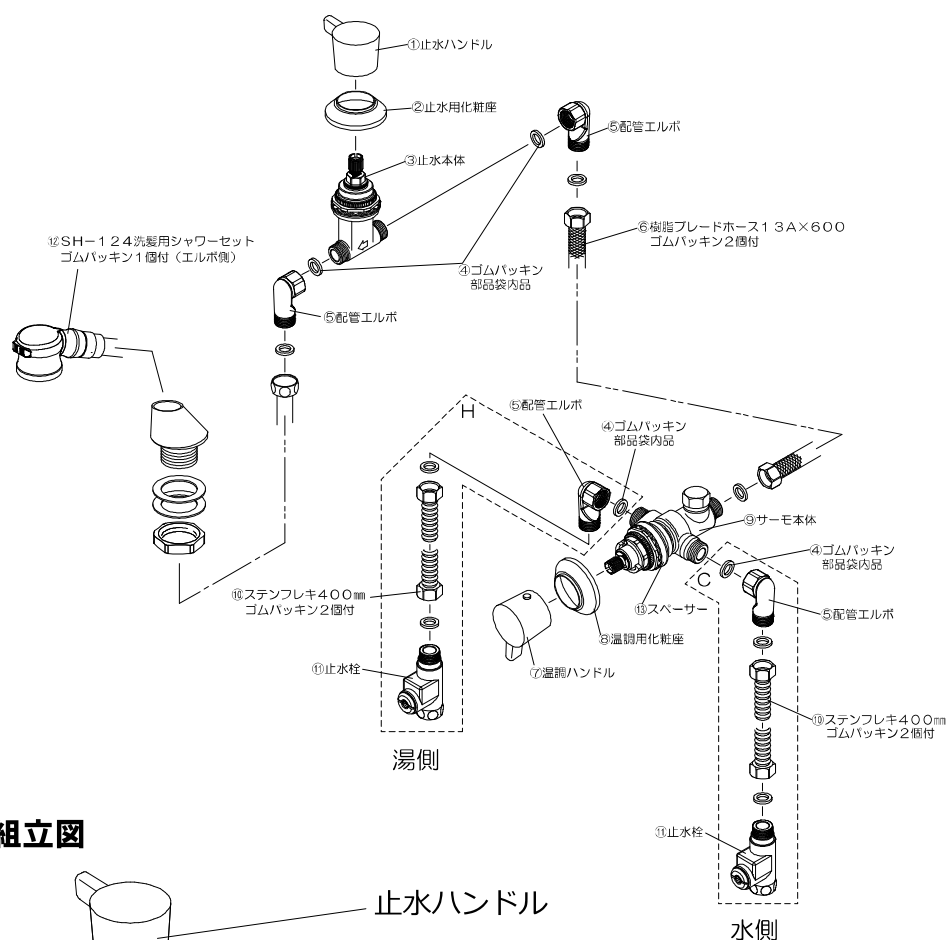
注意事項

- 給水圧力が 0. 7 5 MP a を超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力（0. 2 ～ 0. 3 MP a）に減圧して下さい。ウォーターハンマーや流水音が低減します。
- 給水圧力は給湯圧力と同等もしくは高く設定してください。
- 温度調節を容易にするために給水、給湯圧力の差圧はなるべく小さくしてください。
- 高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし破損や水漏れの原因となります。
- 給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。
- 湯・水を逆配管しないで下さい。やけどや故障の原因となります。
- 給湯に蒸気を使用しないで下さい。やけどや故障の原因となります。
- 水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流して下さい。漏水等の恐れがあります。

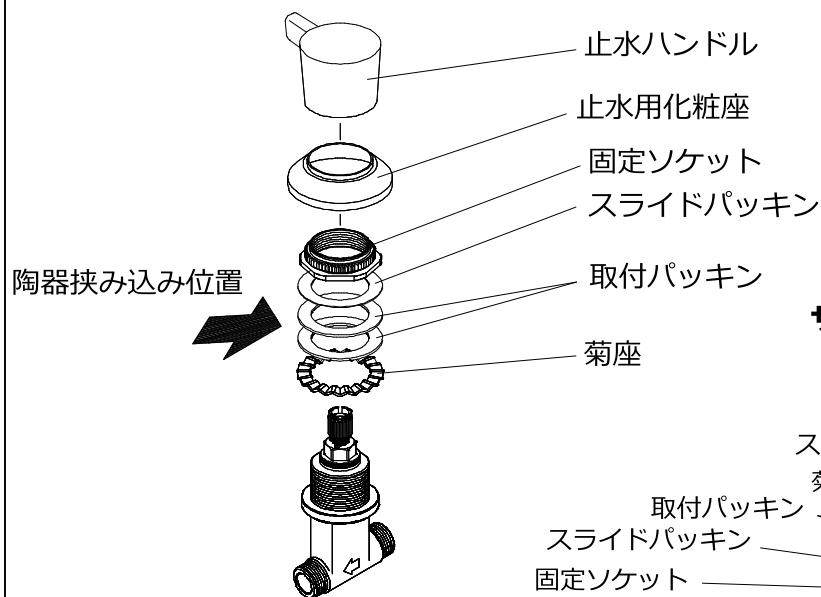
取り付け後の点検・調整 ※必ず行ってください。

- 1)給水・給湯ホースを上げ下げし、外れないことを確認してください。
- 2)水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
- 3)天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入しないか確認してください。
- 4)吐水口部をはずし、泡沫内芯をよく水洗いして砂、ゴミなどを完全にに取り除いてください。
 - 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。
- 5)お使いいただく現場で適量、適温が得られるよう止水栓で調整してください。
水の流量を湯の流量の 1. 5 倍程度にすると温度調節がしやすくなります。

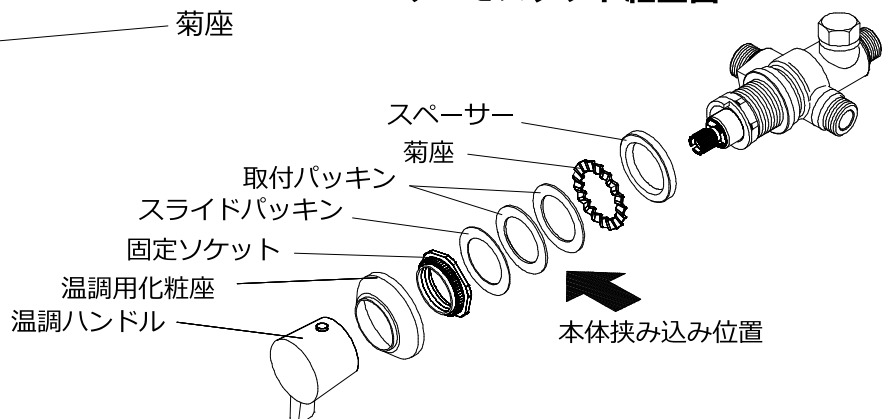
サーモタイプ配管図



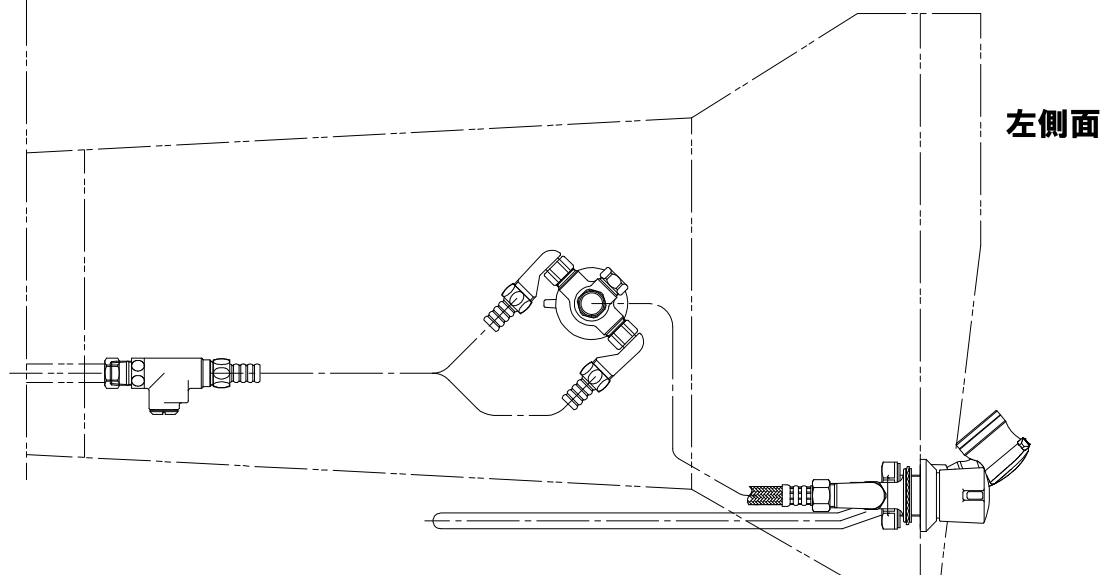
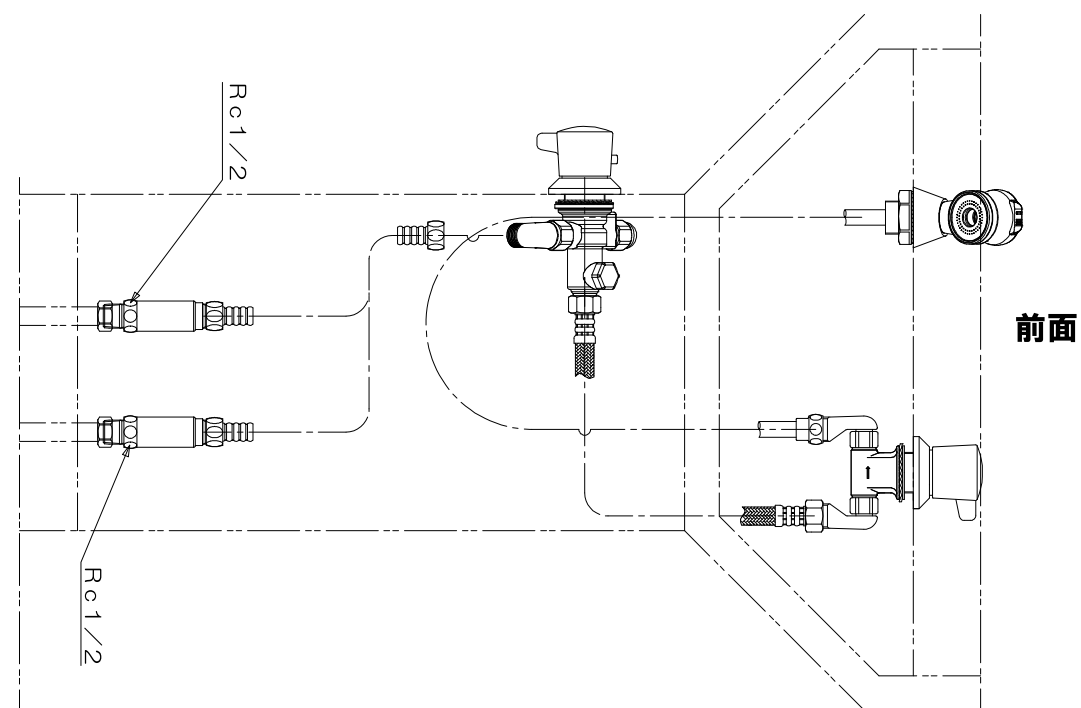
止水コック組立図



サーモスタット組立図



サーモタイプ配管図



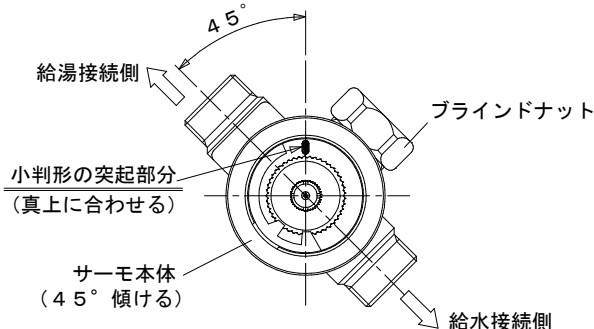
サーモスタット取り付け方

40℃設定の方法とハンドル取付のご注意

40℃の位置設定がとても重要ですので、必ず下記の要領をお守り下さい。

本書、および取付説明書に指示する方法以外の工事、または取付が原因で生じた水漏れ、および損傷に関しましては免責となります。

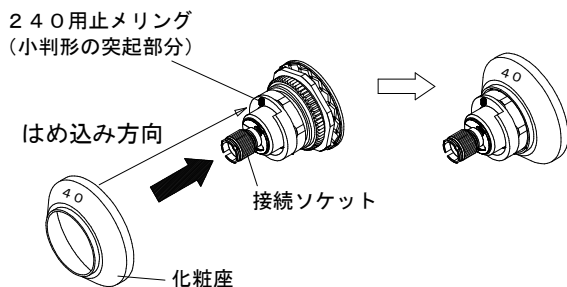
1 「サーモ本体」の位置決め



①「サーモ本体」を**45度傾けて設置**します。

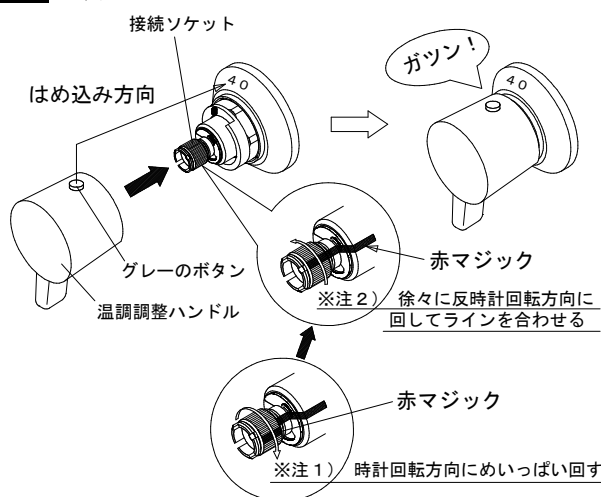
②本体を真正面から見た時に、「240用止メリング」の小判形の突起した部分を真上に合わせると、本体が**45度の位置に設置**できます。

2 化粧座の取り付け



①「240用止メリング」の小判形の突起した部分と、化粧座の「40」の位置を合わせて、化粧座をはめ込んで下さい。

3 温度調整ハンドルの取り付け



①「サーモ本体」上部と接続ソケットに赤マジックでラインが引いてあります。その赤マジックの位置がまっすぐなるように合わせて下さい。

※注) 接続ソケットを反時計回転に回しすぎると「ガツン」と音がして、部品が故障します。

ラインを合わせる際には、接続ソケットを時計回転方向にいっぱい回してから、反時計回転へ徐々に回しながら、ラインを合わせて下さい。

②取り付けした化粧座の「40」の位置（小判形の突起部分）に、温度調整ハンドルのグレーのボタンを合わせるように差し込んで下さい。

③最後に、温度調整ハンドルの上面を手のひらで軽くたたき、『ガツン』という音がするまではめ込みます。

ご 注 意

※取付完了後は、実際に水、湯を吐水し、吐水温度を確認して下さい。

※赤マジックの位置は「40℃」の目安ですので、 $40 \pm 3^{\circ}\text{C}$ 程度の誤差が発生する場合があります。

※温度目盛と吐水温度が一致しない場合は、取付説明書の「温度調整方法」を参考に再調整を行って下さい。

サーモタイプ部品図（止水コック・エルボ金具）

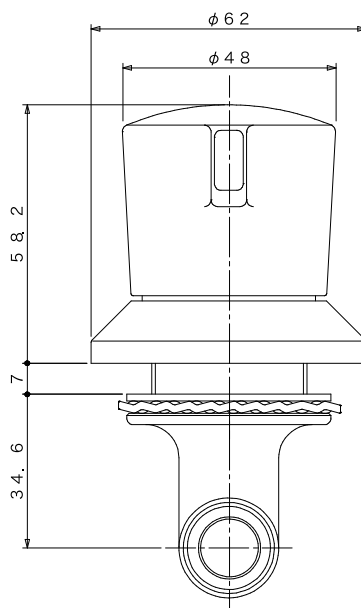
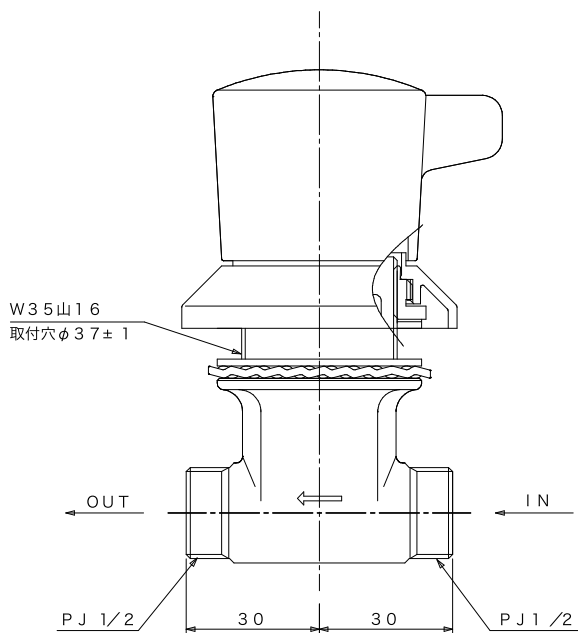
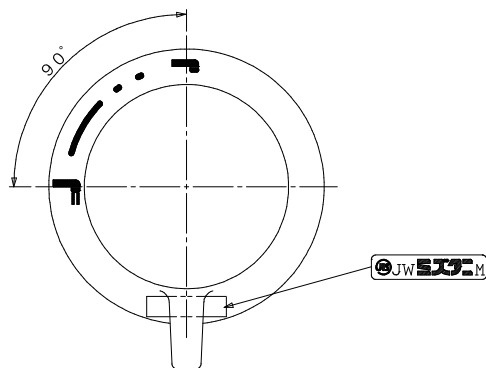
■止水コック

止水本体セット 構成部品

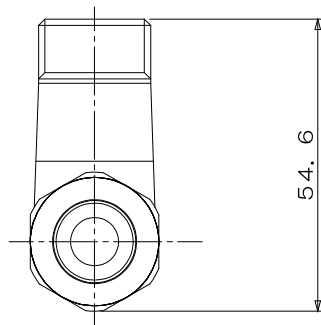
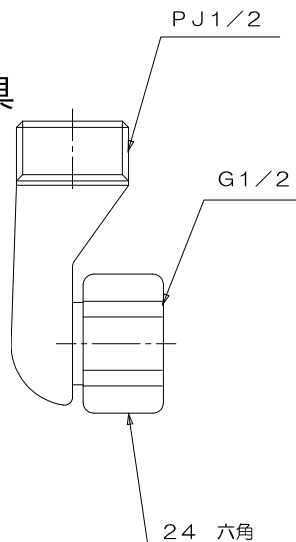
A : 9 1 40 1 0	2 50用止水ハンドル・赤マーク無
L : 9 1 40 0 0	止水用化粧座・メッキ付・J ISシール付
B : 8 8 6 43	25 0 用止水本体 (BG) 粗

25 0 用止水本体 (BG) 粗 構成部品

A : 9 1 60 0 5	取付パッキン 4 6x 3 5x 1. 5	2 枚
A : 9 2 30 4 4	7 70 H S用菊座	1 枚
A : 9 2 60 7 6	4 81 S 用スライドパッキン	1 枚

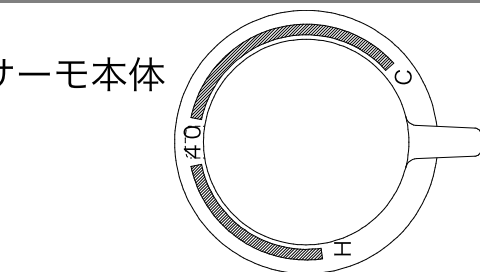


■エルボ金具



サーモタイプ部品図（サーモ本体セット・止水栓）

■サーモ本体

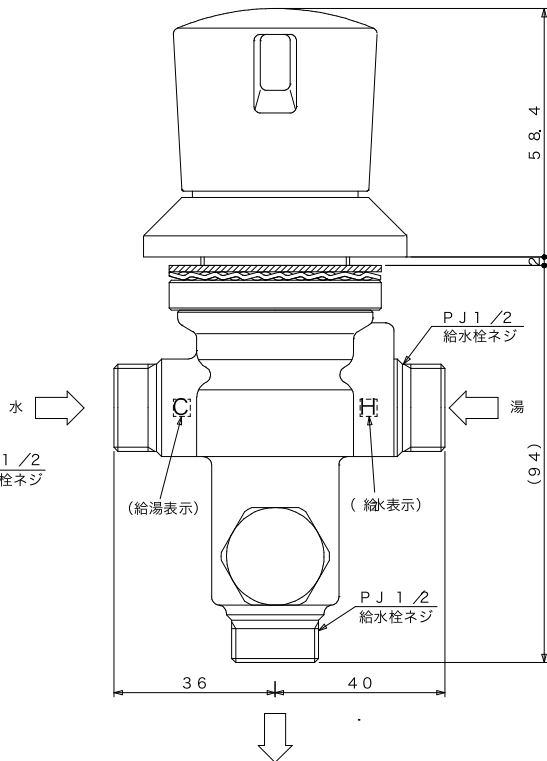
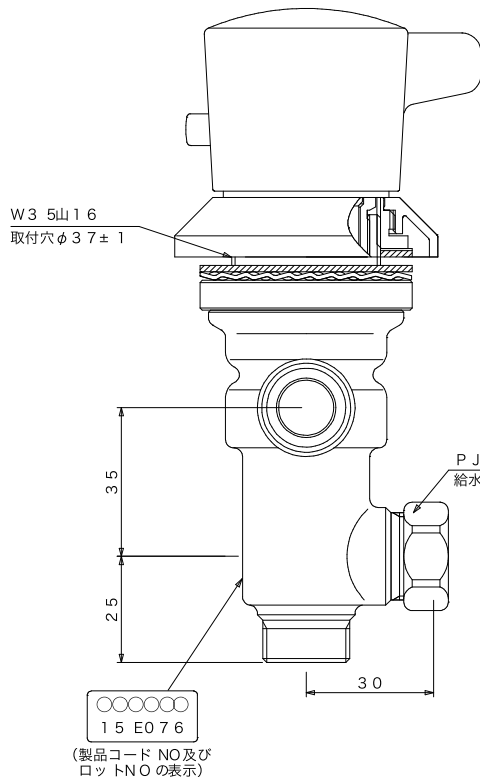


サーモ本体セット 構成部品

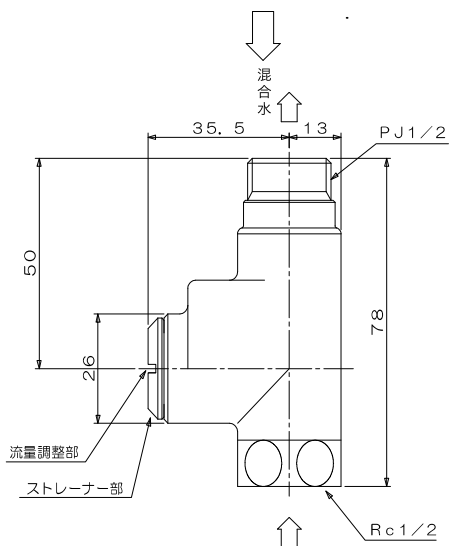
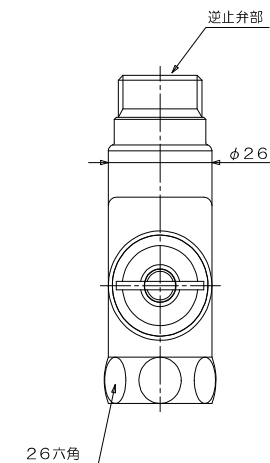
A : 91 40 8 9	2 40用温調化粧座・メッキ付
A : 86 30 5 4	2 40用温調ハンドルセット
B : 8 88 6 44	240 用サーモ本体 (BG 3) (組)

240 用サーモ本体 (BG 3) (組) 構成部品

A : 91 12 8 8	2 40用スペーサー	1 個
A : 91 60 0 5	取付パッキン 4 6×3 5 ×1. 5	2 枚
A : 92 30 4 4	7 70 H S用菊座	1 枚
A : 92 60 7 6	4 81 S用スライドパッキン	1 枚



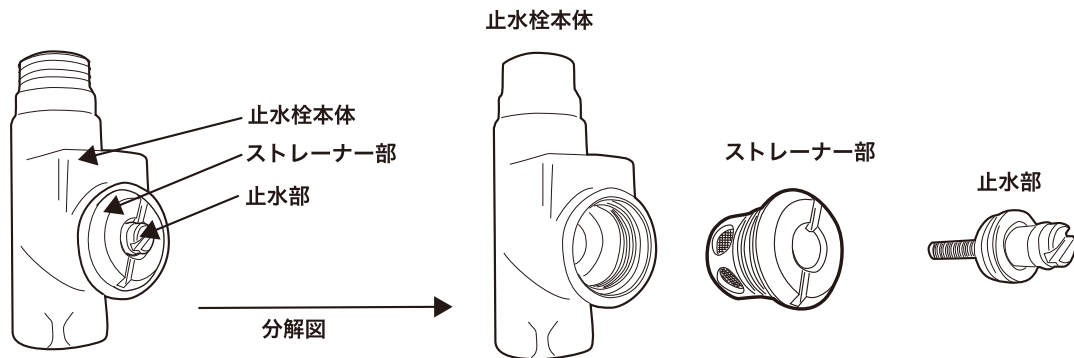
■止水栓



※止水栓の取付は流量調整部が必ずメンテナンス用開口部の正面になるように取り付けてください。

止水栓

■止水栓

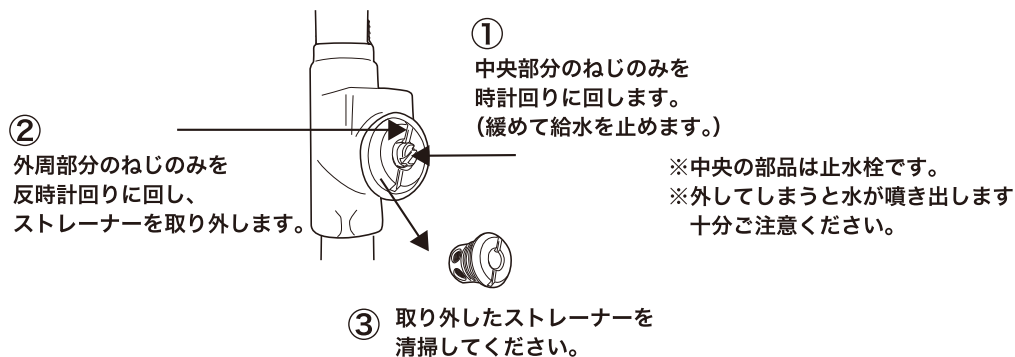


■止水栓の開け方



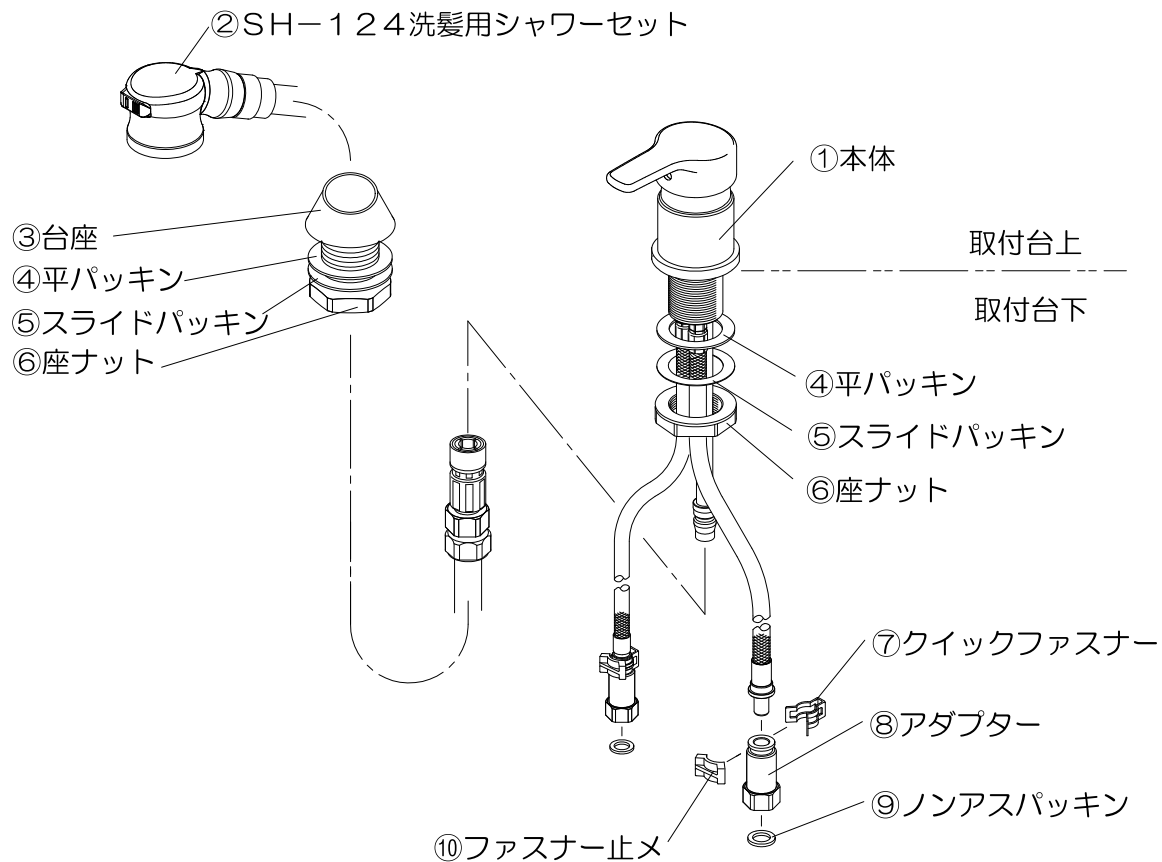
■ストレーナーの外し方

※設置時は施工のかすが管に残っている場合がありますので、
設置後一度給水し、ストレーナーを掃除してください。その後必ず止水を開けた状態でお引き渡しください。



シングルレバータイプ配管図

下図を参照に部品を取り付けて下さい。部品の取り付けは確実に取り付けて下さい。
取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無い事を確認し実用テストを必ず実施して下さい。

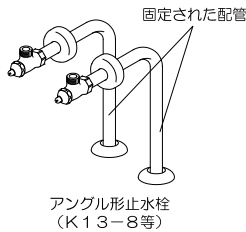


シングルレバータイプ取り付け方

取り付け順にしたがって確実に取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

1 湯側・水側の配管に止水栓（別売品）を取り付けます。

※止水栓は固定された配管に取り付けて下さい。
※流量調節や保守点検のため、必ず取り付けして下さい。



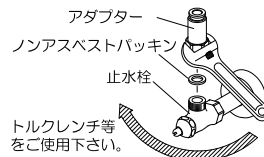
アングル形止水栓
(K13-8等)



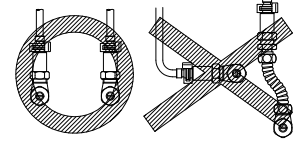
ストレート形止水栓
(K13-15等)

2 アダプターを止水栓に固定します。

※アダプターは手でいっぱい締め付けた後、モンキーレンチで45度程度、締め付けて下さい。(適正トルク: 19.6^{+5}_{-0} N・m)
※アダプターと止水栓の間には、付属のノンアスベストパッキンを必ず入れ直接止水栓に取り付けて下さい。
※ノンアスベストパッキンの取付けは、取り付け面が平滑でないと漏水の原因になります。平滑でないものは絶対に使用しないで下さい。



トルクレンチ等
をご使用下さい。



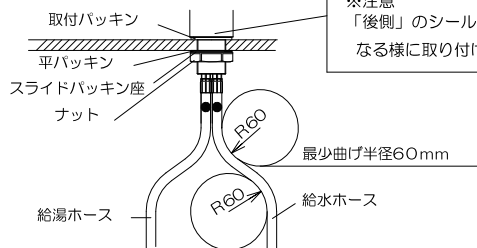
正しい配管例

誤った配管例

3 本体を取り付け台に固定します。

※水栓本体を固定する際、レバーハンドルを持たないで下さい。それらを持って締め付けると破損の恐れがあります。
※給水・給湯ホースは大きな曲げ半径（最小曲げ半径60mm以上）で曲げ、アダプターへ接続して下さい。

※座ナットの締め付けは、TOTO
製の締め工具T Z 34も使用で
きます。

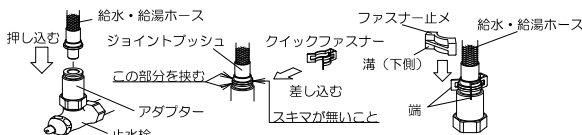


※注意
「後側」のシール部が必ず後側
になる様に付けて下さい。

最少曲げ半径60mm

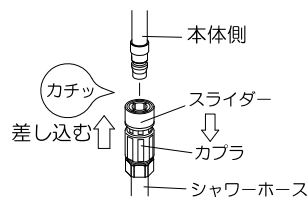
4 給水・給湯ホースをアダプターに固定します。

※給水・給湯ホース先端部とアダプターの隙間が無いことを確認してから
クイックファスナーを確実にはめ込んで下さい。
※クイックファスナーをはめ込んだ後、ファスナー止めの溝（下側）を確実に
はめ込んで下さい。
※接続後、給水・給湯ホースを上方へ強く引いても抜けないことを確認して
下さい。



5 混合栓とシャワーホースを接続します。

※カブラのスライダー部を引きながら差し込み、「カチッ」と音がするまで
押し込んで下さい。
※カブラを引いて、抜けないことを確認して下さい。



取り付け後の点検・調整

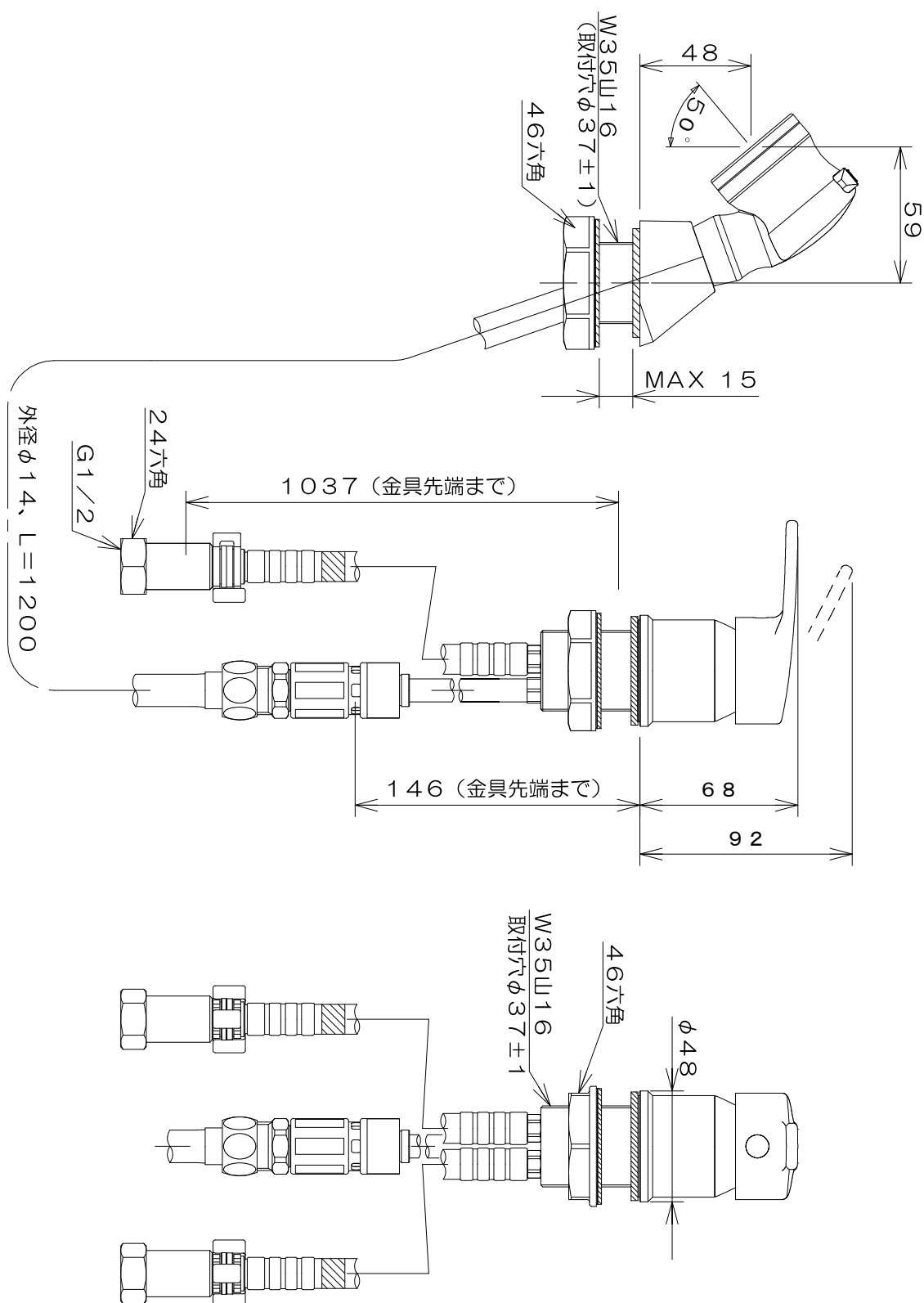
※給水・給湯ホースを上げ下げし、外れないことを確認してください。
※水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入しないか確認してください。
※吐水口部をはずし、泡沫内芯をよく水洗いして砂、ゴミなどを完全に除去してください。
※お使いいただく現場で適量、適温が得られるよう止水栓で調整してください。水の流量を湯の流量の1.5倍程度にすると温度調節がしやすくなります。

点検項目

使用中に異常が生じた場合は次の項目を点検し、調整して下さい。

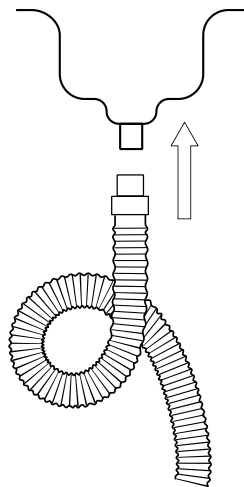
異常な状態	点検・調整
吐水量が少ない	- 止水栓が閉まりすぎていないか、ドライバー等で調整する。 - 泡沫内芯にゴミが詰まっているか。 - 給水・給湯源に異常はないか。
高温あるいは低温しか出ない	- 止水栓が閉まりすぎていないか、ドライバー等で調整する。 - 熱源が正常に作動しているかどうかを確認する。また、給水圧力に大幅な変化が無いを確認する。

シングルレバータイプ部品図

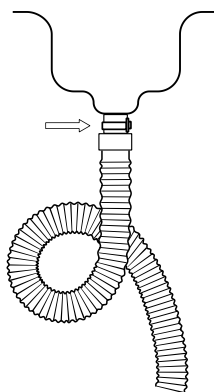


排水ホース取付について

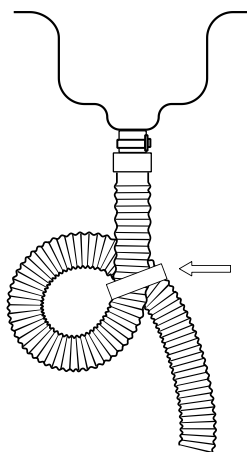
- ・排水ホース取り付け時には、塩ビ糊などの接着材は使用しないでください。
- ・排水ホースにカッターなどで切れ込みを入れないでください。



- ・同梱されているホースバンドを使用し、ホースを引っぱっても抜けないように、しっかり止めて下さい。



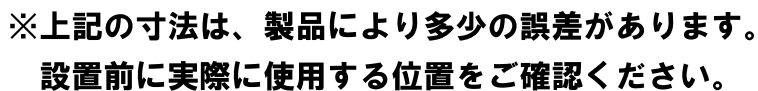
- ・臭気止めトラップを必ず作成して下さい。
- ・トラップを作る際は、ビニールテープを使用し結束バンド等は使用しないでください。



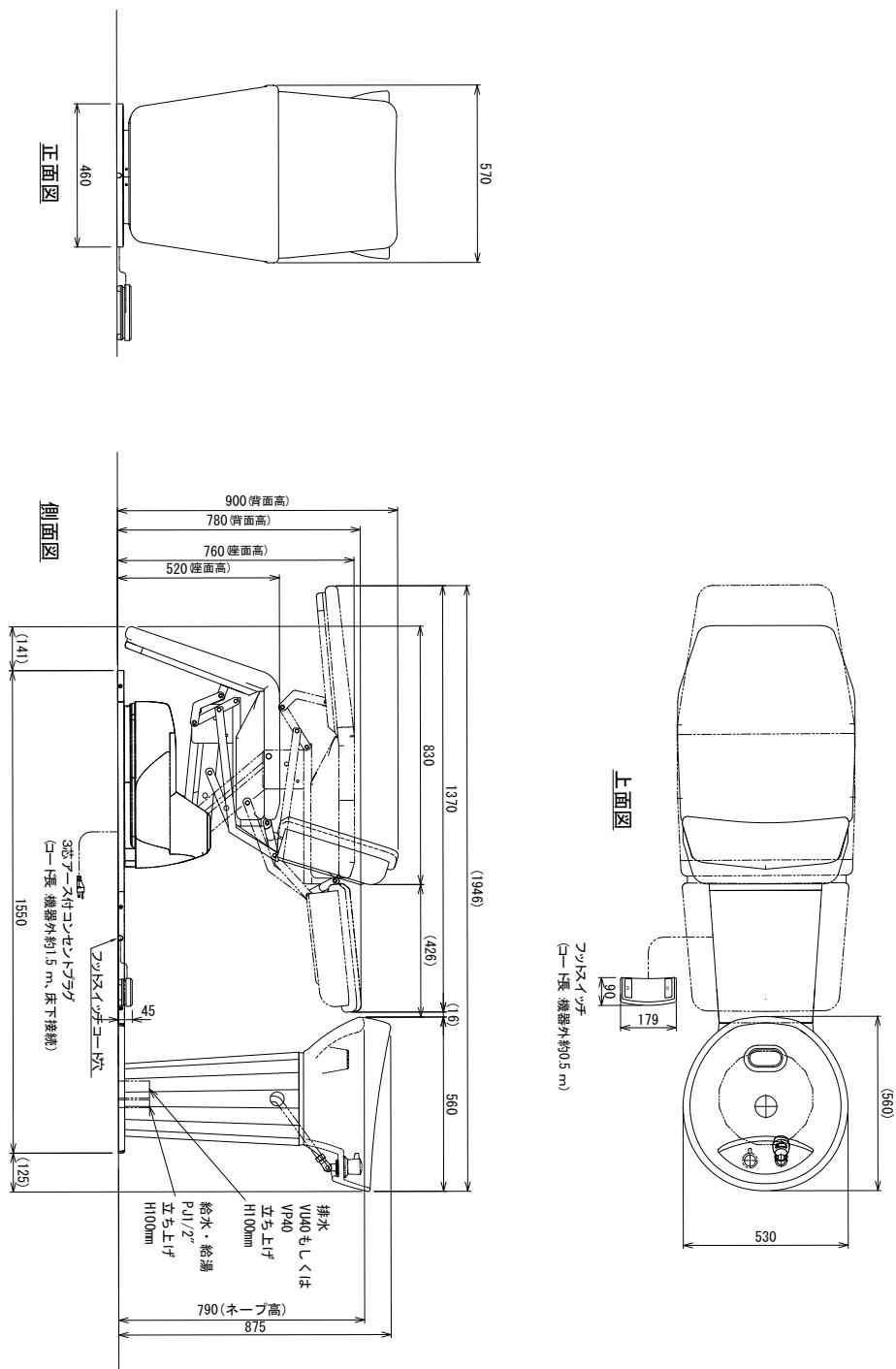
※イラストはイメージです。

※陶器が可動する商品に関してはホースが内部に干渉しないように接続してください。

電源コンセント立ち上げ位置
※機器と床に隙間が少ないので、
床下で接続を行ってください。

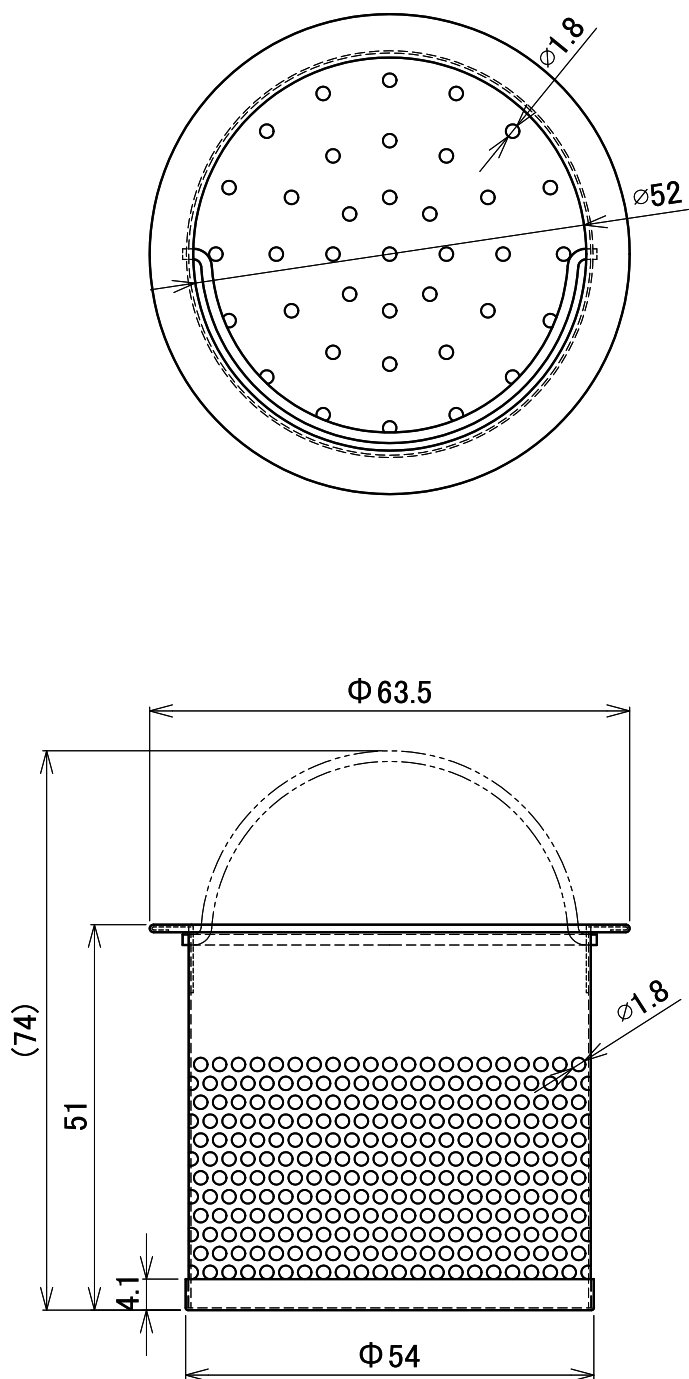


寸法図



※上記の寸法は、製品により多少の誤差があります。
設置前に実際に使用する位置をご確認ください。

ヘアキャッチャー寸法図



NOTE

1) Material : SUS308

ご注文お問い合わせ

0120-974-554

修理メンテナンス

0120-919-969